

ヨド物置 エルモ シャッター

単棟・連棟型〈土間タイプ〉組立説明書 LOD (U)・1825HD型・1829HD型

このたびは「ヨド物置」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
組み立てる前に、この「組立説明書」をかならずご確認ください。
また「取扱説明書」「保証書」は大切な書類ですので、施工完了後、必ずお客様へお渡してください。

※この組立説明書は1829HD×2連棟の図を基準にしていますが、単棟・3連棟以上の場合、または機種が1825の場合も組立手順は同じです。よくご確認の上、組立を行ってください。(組立は専門業者に依頼ください。)

●設置場所の制限

△注意

- 1.建物の上には設置しないでください。
- 2.ハルココー等の避難通路にあたる場所には設置しないでください。
- 3.大規模からの雨水や雪が、直接物置の屋根に落ちる場所には設置しないでください。
- 4.雪の多い・雪当りの強い場所等安全の確保できない場所には設置しないでください。
- 5.給排水の管には設置しないでください。

●施工前の注意点

△注意

- 1.ブロック等の基礎は地盤にのりよく、強度確保のため、鉄筋入りの布基礎としてください。
- 2.部材は、全て鋼製ですので手で切らないようくれぐれもご注意ください。
- 3.安全のため必ず手袋を着用してください。
- 3.重い部材、重荷の運搬や荷役の際は必ず2人以上で行ってください。
- 4.組立部材には長尺で重い物もありますので振り回したり落としたりしないように注意してください。
- 5.風の強い日・雨の日は、組立作業を避けてください。
- 6.高い足場が必要な時は、踏み台・脚立等安定した足場を使用してください。

鍵は、シャッタースラットの裏面に貼り付けてあります。

●施工時の注意点

- 1.まず御注文通りの商品がどうかを梱包組合せ表・梱包内容表にて確認してください。
- 2.部材の共通化のために、実際には使用しない孔の空いている部材がありますので、説明書に従って組立てください。
- 3.部材名称の左・右は、正面に向かって右側に取付く部材を右、左側に取付く部材を左とします。
- ※シャッターの部材名称は室内側から見ての左右となりますので間違えないように取り付けてください。
- 4.部材の組立は、ボルトの孔に合わせて組立てください。ボルト孔が合わなかった場合は、ボルトをゆるめ、ボルトの孔位置を合わせてください。
- 5.組立後、各部のボルト・金具の締め忘れやゆるみがないか確認してください。
- 6.シャッター部材の取付けについては各工程に注意事項を記載しておりますので、よくお読みの上、組立を行ってください。

●組立に必要なもの(事前に準備ください。)

・軍手・水準器・脚立・M6・M8ボルト・アンカーボルト・締結用のスパナ又はモンキー・ペンチ等工具・サゲフリ・サンダー等切断工具・アンカーボルトW1/2×210、ナット×2、ワッシャー(オプションの取付もごさいます。)

●使用ビス一覧(各工程の使用ボルト数に特に記載がない場合は、M6×15(白)を使用します。※が付くものは連棟型のみ使用します。)

※[5] 中柱前高さ調整時

※[6] 上枠中の組立時

※[7] 上枠前補強取付け時(豪雪型のみ)

※[17] シャフトの取付け時

※シャッターブラケットに取り付けています。

梱包組合せ表			
機種	単棟用	追加棟用	単棟用
1825型	1825型	1829型	
部 品	単棟用	追加棟用	単棟用
上枠前後	一般	一般	一般
下枠前後	一般	一般	一般
上枠左右	一般	一般	一般
下枠左右	一般	一般	一般
中柱	一般型	一般型	一般型
間柱	一般型	一般型	一般型
補強	一般型	一般型	一般型

梱包内容表			
機種	単棟用	追加棟用	単棟用
1825型	1825型	1829型	
部 品	単棟用	追加棟用	単棟用
上枠前後	一般	一般	一般
下枠前後	一般	一般	一般
上枠左右	一般	一般	一般
下枠左右	一般	一般	一般
中柱	一般型	一般型	一般型
間柱	一般型	一般型	一般型
補強	一般型	一般型	一般型

1基礎施工例(参考図)

△注意 強風地、寒冷地等に設置する場合、現地の状況(基準風速・凍上による陸など)にあわせて設計・施工してください。

〈単棟型〉基礎図

〈連棟型〉基礎図

△注意

1.基礎の土質は地盤にのりよく、強度確保のため、鉄筋入りの布基礎としてください。- 2.部材は、全て鋼製ですので手で切らないようくれぐれもご注意ください。
- 3.安全のため必ず手袋を着用してください。
- 3.重い部材、重荷の運搬や荷役の際は必ず2人以上で行ってください。
- 4.組立部材には長尺で重い物もありますので振り回したり落としたりしないように注意してください。
- 5.風の強い日・雨の日は、組立作業を避けてください。
- 6.高い足場が必要な時は、踏み台・脚立等安定した足場を使用してください。

2水切りの取付け

① 水切り後の両端の孔をアンカーボルトに通して基礎の上に設置します。
設置後、下図の通りコーキングします。

② 水切り側も同様を設置します。

△注意

注)コーキングが不十分だと雨水等が室内に侵入する恐れがありますのでしっかりと必要個所に塗布してください。(高さ1cm程度が目安)

3接続金具の取付け(その1)

① 下枠接続金具前(左右)の孔を基礎のアンカーボルトに通し、ワッシャー・ワールバック・ナット×2で固定します。

② 下枠接続金具後 も同様に取り付けます。

③ 下枠接続金具後中 も同様に取り付けます。

△注意

中柱前は自立しませんので、図の様に、倒れない工夫をしてください。

3接続金具の取付け(その2)

④ 金具を固定後、下図の通りコーキングします。

△注意

コーキングが不十分だと雨水等が室内に侵入する恐れがありますのでしっかりと必要個所に塗布してください。(高さ1cm程度が目安)

市販のアンカーボルトでワールバックがついていない場合はアンカーボルト周辺にコーキングを行ってください。

4下枠の組立

①(下枠側)・下枠後を接続金具の上から被せて固定します。

△注意

ボルト孔位置が合いにくい場合はアンカーボルトを緩めて合わせてください。
※緩めた場合は必ず締め直してください。

△注意

下枠前は自立しませんので、図の様に、倒れない工夫をしてください。

5柱の組立

① 柱前左右・柱後を下枠の4隅の切欠きに差し込んでボルト止めします。

②(中柱後)を同様にボルト止めします。

③(中柱前)の下部に付いている金具のタップに(アジャスターボルト)を取り付けます。
併せて少し上側のナット2か所にボルト止めします。

④ 中柱前を柱前の高さと揃えて建てます。補足説明ラベルの通り、中柱前下部の△の頂点と布基礎天面の高さを合わせてください。微調整はアジャスターボルトを回して行います。
施工後はラベルをはがしてください。

△注意

中柱前は自立しませんので、図の様に、倒れない工夫をしてください。

6上枠中の組立

●連棟の場合のみ

① 中柱前と中柱後の室内側のスリットに(上枠中左、中右)のツメを引っかけて仮預けします。上枠中左と中右は、かみ合わせてください。

② 上枠中と中柱前を、(上枠中受け金具前右(左))ではさんで、ボルト(M8×65)・M8ワッシャー・M8ナットで固定します。上枠中と中柱後も同様に固定してください。※一般型と豪雪型とで金具形状およびボルト類使用数が異なります。

③ 上枠中の3つ孔に、両側から(もや取付金具)をボルト(M6×18)とM6ナット(W13)で取付けます。

△注意

上枠中左、中右のかみ合わせ及びもや取付金具の取付け作業を先に行ってください。

7上枠前後の取付け

① 上枠前のツメを柱前左右、中柱前の切欠き部に引っ掛けてボルト止めします。

②(上枠後)のツメを柱後、中柱後の切欠き部に引っ掛けてボルト止めします。

③ 豪雪型の場合のみ(上枠前補強)を室内側から柱前左右、中柱前に載せ、両端部をボルトとナットで固定します。中央部は室外側から上枠前とボルトで固定します。

△注意

上枠前の孔が合いにくい場合はアジャスターボルトを回して調整してください。

8上枠左右の取付け

① 上枠左・上枠右を柱に取り付けます。

△注意

上枠前は自立しませんので、図の様に、倒れない工夫をしてください。

